

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	池上どろんこ保育園
施設所在地	大田区池上1-19-32
法人名	株式会社ゴーエスト

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

色の創作

<テーマの設定理由>

園周辺で自然物拾いが沢山できる環境にあり、木の実の煮出し液で描いた絵が日が経つにつれ色が変わり子どもが関心を持っていた。他の木の実や野菜の切れ端を使って色を煮出してその変化や違いについて子どもたちと探究していきたいと感じたため。

## 2. 活動スケジュール

- ・4～7月は周辺の公園で自然物拾い。
- ・8月は畑で収穫した紫蘇の煮出し汁でそうめんを染める。
- ・畑の野菜の皮や周辺で収集した自然物を煮て色水を作ったり布を染めたりする。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ガラス耐熱鍋
- ・そうめん
- ・布

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・4～7月は周辺の公園に自然物探しを行ったり、畑の野菜の種まきや世話をしたりした。また、1歳児クラスの児と拾った木の実を煮だして色水を作った。
- ・8月は紫蘇が多く育ち、煮だしたものをそうめんに染め、流しそうめんを行った。
- ・紫蘇の煮出し汁の色が薄かったので再度鍋で煮だした。他にも周辺の公園で煮だしてみたい落ち葉などを拾ってきて煮出し汁を作った。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・紫蘇の煮だしでは、3,4歳児クラスのやりたい児が集まり、紫蘇の収穫を行った。「何色になるかな?」「葉っぱは緑だから緑かな?」と想像していた。葉の表と裏の葉脈の色が異なっていたので保育者が気づけるように言葉かけすると、葉を観察したり集めた紫蘇を色分けしたりする姿があった。
- ・煮だし汁はそうめんに染色して流しそうめんにした。他にも染色する身近な食べ物(かまぼこ、紅白餅など)を保育者があげると、「知らなかった、他にどんなもので色をつけるの?」と疑問が膨らんでいた。
- ・「色が薄かった」ということで後日再度紫蘇を煮出してそうめんを染めた。「どうしたら濃い色になるかな」と保育者が聞くと、「もっと紫蘇を増やそう」「他の落ち葉も入れてみよう」「長く煮てみよう」など考える様子があった。
- ・実際に紫蘇を増やして長く煮だしたところ、少し色が濃くなった。他にも煮出ししてみたいということで保育者と一緒に周辺の公園で落ち葉や木の実を拾ってきて煮だし、黄色や緑に色分けして色水を作った。用意していたガーゼの布の他に、子どもからの提案で画用紙やティッシュにも色水を浸して染めた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然物への興味から行った活動だったが、元々の色や葉脈の様子、染めてからの色味の変化などに興味を広げていた。紫蘇や落ち葉などの煮だしは複数回行っており、これらの実験的な活動からは子どもたちの疑問や試してみる力、話し合う力などが育っていたように感じた。また、継続的に取り組んだことで子どもたちの興味も継続していた。今回は煮だして色を作ってみただけだったが、その煮だし汁を使って製作や染め遊びにつなげたり、色を染めて作られる身近な物に調べたりと、遊びや学びが広がるように働きかけていきたい。